

件名	令和4年度 第2回 福井市障がい者自立支援協議会 こども部会 報告書		
日時	令和4年9月1日(木) 10:30～12:00	会場	オンライン(Teams)
協議事項	(1) 教育と福祉の連携について ～教育と福祉に関するハンドブック～ (2) 就学時の放課後等デイサービス利用について (3) 強度行動障害に関する WG について (4) 委員の改選について		
協議結果	<p>■報告内容</p> <p>・福井市児童発達支援管理責任者ミーティングについて <span style="float: right;">資料1</span></p> <p>〔事務局〕資料1に基づき、設置の理由・目的等について説明。 質疑特になし。</p> <p>■協議内容</p> <p>(1) 教育と福祉の連携について(教育と福祉に関するハンドブック) <span style="float: right;">資料2</span></p> <p>〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援委員会・特別支援教育専門分科会に障がい福祉課が委員として参加しており、7月の就学相談会で、障がい児通所支援について初めて話をする機会を得た。教育支援委員会等で上がってきた福祉の課題については随時部会で報告する。</li> <li>・ハンドブック作成について(資料2)は、コロナの関係で、作成時期が遅れている状況。</li> <li>・他の自治体からも情報を得た。就学支援に関しては天草市を参考にしたい。</li> </ul> <p>〔意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て情報誌とのリンク・すみ分けについての検討もお願いしたい。</li> <li>・連携の下でいろんな情報が見られるのは素晴らしい。協力していきたい。</li> <li>・配布についてはどのような形を考えているのか。</li> </ul> <p>⇒配布の流れについては今後検討していく。当初は500部(約10万円)の予定で予算を取ったが、ページ数等によって印刷料金が変わることもある。基本はネットで情報を得る形を考えており、冊子は支援者に配布し、コピーして活用してもらいたいと考えている。内容の更新についても、ネットでの更新という形で考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県ではそういった冊子を有償で販売していた。場合によっては、作成までは市が行うが、印刷・配布は委託し、購入という形も一案。ダウンロードは出来ても、冊子になっているのなら買いたいという意見も結構聞く。</li> </ul> <p>⇒「はぐくむBOOK」には広告が入っているため、製作費は0円。今後、検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他府県の例も参考にしていってほしい。無料での方法だけでなく、実費支払いとか有償でも生活保護世帯は無償といった方法がある。公的な機関が行う場合、こういったことも考えていく必要があると思っている。</li> </ul> <p>(2) 就学時の放課後等デイサービス利用について</p> <p>事業所に対する実態調査を QR コードのアプリを使っての実施を考えている。相談支援事業者連絡会との調整を図り、9月半ばから10月にかけて実施していきたい。放デイ事業所にもアンケートが実施できればと考えているので、次回の児発管ミーティングで話をしていきたい。</p>		

### (3) 強度行動障がい児支援に関するWGについて

〔議長〕WGは2回実施。1回目はどういうことができるのか、2回目は現実にできるのかといった視点で進めてきた。3回目は手段のところを議論していきたいと考えている。

〈教育と福祉の連携〉の中では、福井市の教員の方々に対応の仕方・相談先等、理解を広めていくといったところを大前提とし、強度行動障害児支援に関する研修を全教員にしてもらえないかといった話をしている。

自立支援協議会のなかで挙がっている〈強度行動障害加算の付いている方々の移行支援会議の在り方〉については、医療・教育・福祉3者でもっと早い段階から話を進めることの可能性について話す中で、原則、保護者の要望がない限り難しいとの回答だったが、市内の全支援学校が同じ体制か確認するため、3回目で県の教育委員会や他の支援学校の教員の方に参加を依頼し、話す中で、教育側で行う進路相談の場に福祉・医療がもっと積極的に参加するには、こういった形があるかを考えていきたい。

また、WGで決まったことが地域の中で進んでいく中で、〈加算がついていない方・福祉サービスを使っていない方〉をどう支援していくのかについて、考えていけたらと思っている。

〔意見〕

・移行支援会議とは何か

⇒福祉が言う〈高校から就労〉だけでなく、小学校から中学校、中学校から高校といった移行にあたって、教育の場では進路相談会という名称で本人の持つ力・進路先等について話をしていく。

WGでは早めに実施していきたいといった点に焦点を当てている。

・強度行動障害の研修を教員の方々にという話だったが、福祉のほうでの研修は進んでいるのか。

⇒・支援者養成研修あり。

・医師も福祉の制度や関わり方の基本を知っているわけではないため、新任の医師は受けている。

・移行支援会議は制度上決まっているものなのか。

⇒福祉では、次のサービスに繋がるとき、サビ管・児発管は聞き取りをしないといけませんが、それが移行支援会議という名目で行われるはずなので、制度上は乗っかっている。

⇒学校にはない。福祉では、サービス算定もあるが、受け手側の学校としては業務に入っているものではない（学校の業務詳細は不明確ではある）。医療では、少しずつ医療保険の算定ができるようになってきているが、仕組みとしては追いついていないところがあるかと思う。

⇒移行支援について、高3・就労に関する意味合いが強いと感じられると思うが、そもそも小さい頃から切れ目なく支援していくため、各ステージにおいて引継ぐときに必要なもの。会議だけのことではないということを知ってほしい。小中学校でもしていくものという意識があるが、そこに福祉や医療の方を呼ぶ・呼ばないにあたって、どうやって呼べばいいのか、お金は発生するのかといった仕組みや手続きがわからないので、気軽に声をかけていいのか悩んでしまう、といったところかなと思う。

・今回出た意見も含め、第3回WGに繋げていきたい。

⇒次回のWGは9月7日。傍聴可能。

### (4) 委員の改選について

〔事務局〕来年度の委員改選にあたり、委員構成について、それぞれの立場の中で、別の団体の推薦等の意見があれば聞きたい。

〔意見〕

・特別支援学校の方に参加してもらっていることは大切だと思うが、県の高校教育課にも入ってもらう必要があると思う。支援校同士で情報共有がなされるものなのかが疑問。声かけが可能なら、決を取り、来年度より参加してもらいたい。

	<p>⇒声掛けは事務局としては可能。次回の強度行動障害 WG に参加の意思を聞いている。福井市のこ とについても熱心に取り組んでいただけるものと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援校の教員の方には議題の内容に応じたスポット参加としてはどうか。</li> </ul> <p>⇒多数決にて過半数の賛同あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の特支校で、重複障がい生徒がそれぞれ存在し、増えてきている。該当の教員も視聴できる 権利があることを呼びかけ、参加の幅を広げてみてはどうか。</li> </ul> <p>⇒仕組みとしては、市HPIに傍聴可能な案内を出している。啓発のため、引き続き部会員の方々が各 専門機関や、既存の連絡会にて声かけしてもらえると有難い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教育課に出てもらうことは賛成。各特支校、在籍する児童生徒は異なり、これを網羅集約してい るのが高校教育課だと思う。</li> <li>・今まで委員として入っていた特支校の教員の方に、部会員として継続的に参加を依頼することにつ いてはどうか。今は、持ち回りで担当し参加という形だが。</li> </ul> <p>⇒該当する障害児を担当する学校を呼ぶこともいいと思う。障害種別で参加要請すると広がりもあ るかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館との住み分けをどうするといったことも出ていたと思うので、そういうところの代表者や保護者 の参加等があると話が広がり、いろんな議論ができると思うので、固定ではなくその都度呼べる体 制が整うといいと思う。</li> </ul> <p>⇒運営会議でも当事者の参加に関して、大きく進めたい思いを事務局は持っている。各部会にどう いった形で参加してもらえるかといったことも思案中。部会の中に当事者が一人ずつ入るといった 形ではなく、スポット的に当事者の意見を聞くことができるといいかなと考えている。〇〇の当事者 に意見を聞きたいということがあれば、事務局に申し出てほしい。</p> <p>〔方向性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の高校教育課の委員参加について打診する。</li> <li>・各特支校の教員の参加については、意見を踏まえ骨子を次回の部会にて確認。</li> <li>・他団体や当事者の参加方法に関しても検討していく。</li> </ul> <p>(5) その他</p> <p>〔津田委員〕小児科医が作成した DVD が YouTube で限定配信中。問い合わせ先は県障害福祉 課・スクラムふくい。視聴後の意見等もいただきたい。</p> <p>〔事務局〕居宅支援部会主催で強度行動障害支援者学習・交流会（基本的には者の事業所の事例 提供・意見交換）が行われると聞いている。傍聴可能。希望あれば、事務局に問い合わせを。</p>
次回	令和4年11月10日(木)10:30～ こども療育センター or オンライン